



JSIDM

日本糖尿病インフォマティクス学会

第25回
日本糖尿病インフォマティクス学会
年次学術集会

「すべての道はインフォマに通ず」

会期 2025年8月30日(土)・31日(日)

会場 ホテルマリターレ創世 佐賀

会長 高橋 宏和

佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科
佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター



第 25 回日本糖尿病インフォマティクス学会年次学術集会

「すべての道はインフォマに通ず」

プログラム・抄録集

会 期：2025 年 8 月 30 日（土）・31 日（日）

会 場：ホテルマリターレ創世 佐賀

〒 840-0804 佐賀県佐賀市神野東 2 丁目 5 - 15

会 長：高橋 宏和（佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科
佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター）

会長からのご挨拶



第25回日本糖尿病インフォマティクス
学会年次学術集会

会長 高橋 宏和

佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科
佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター

この度、2025年8月30日、31日の2日間で第25回日本糖尿病インフォマティクス学会年次学術集会をホテルマリターレ創世佐賀で開催させていただくことになりました。日本糖尿病インフォマティクス学会の発展に貢献されてきた理事長の松久宗英先生並びに前理事長の安西慶三先生はじめ、全ての関係者の皆様に深く感謝いたします。

「すべての道はローマへ通ず」この言葉は古代ローマ帝国の広大な道路網とその影響力を象徴するもので、ローマの中心的な地位を強調しています。ローマ帝国の道路システムがいかに広範囲に及び、様々な地域を結びつけ、帝国全体の統一を可能にしたかを反映しています。現代においても、ビジネスや政治において中心的な地点や要素が全体に与える影響の大きさを示す際に用いられる言葉です。私事ではありますが、もともと消化器病学、肝臓学の診療や研究を専門とする医師・研究者でありました。その後、糖尿病や代謝に関連する研究、社会における肝疾患や糖尿病等の疾病対策に関わる機会に恵まれました。全ての領域において正しく「情報」を得ること、そしてこれを臨床的・学術的に利活用する「インフォマティクス＝情報学」の重要性を感じて来ました。インフォマティクスによって時間や空間、個人の経験や職種、専門領域を超えた学際的な繋がりや波及効果が生まれます。まさにインフォマティクスは情報を運び、領域を繋げ広げる道そのものであり、経由地であり、目的地でもあります。同時にインフォマティクスは個々人、地域といったユニットにも恩恵を与える学問たるべきと考えます。

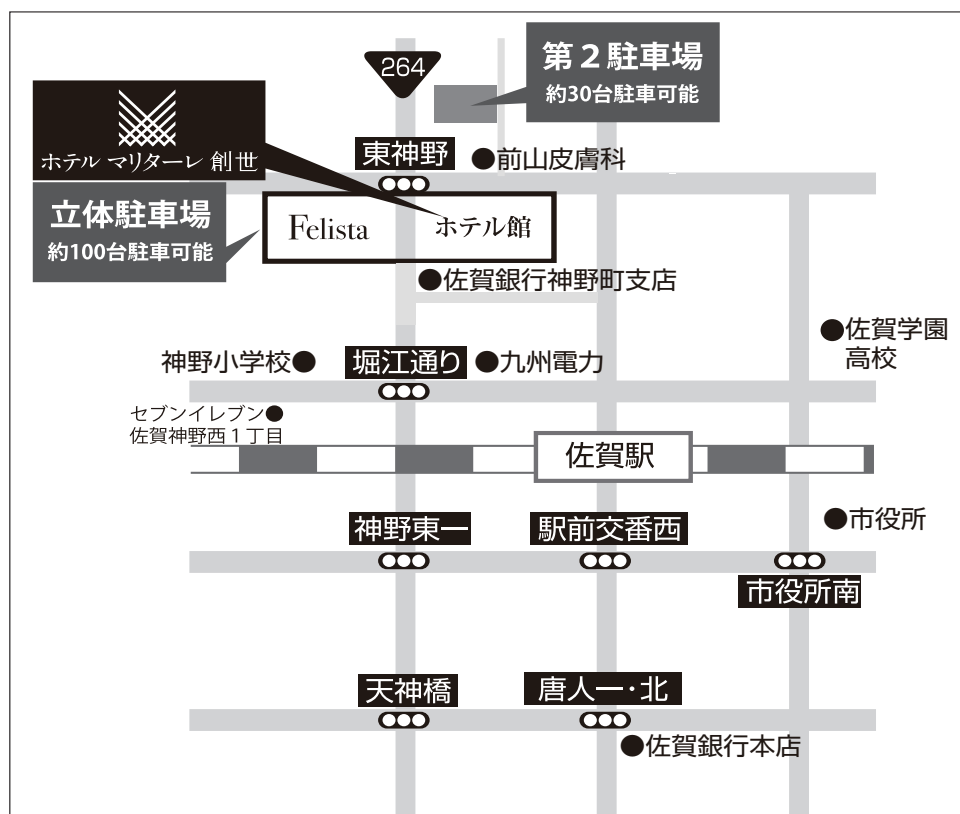
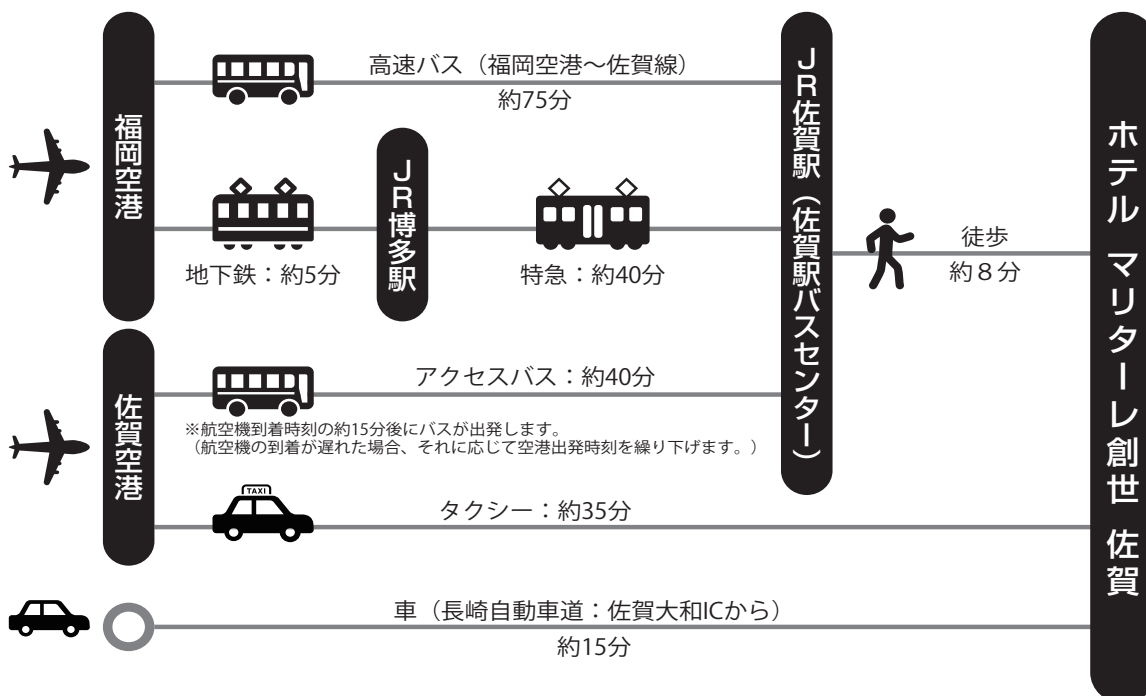
テクノロジーの進歩に伴い、血糖や、活動量、食事内容といった個人に由来するデータがリアルタイムで収集されるようになりました。また医療機関データやレセプトデータ、健診データなどのいわゆるビックデータに多くの研究者がアクセスすることが出来るようになりました。一方でデータそのものの利活用や社会実装には多くの課題があります。更に各データや情報を統合的・包括的に理解し利用できる仕組み作りも重要です。

本学術集会では糖尿病やデータサイエンスの領域で、研究や活動を行うさまざまな専門家が一堂に会します。特別講演、教育講演、シンポジウム、ハンズオンセミナーなどの多彩なプログラムを準備いたします。研究成果を共有する場であるだけでなく、活発なディスカッションを通して課題解決のヒントが得られ、現場のニーズに少しでもお応えできる貴重な機会となることを心から願っております。本学術集会が、皆様にとって実り多い会となりますよう、ご指導ご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

交通のご案内

ホテルマリターレ創世 佐賀

〒840-0804 佐賀県佐賀市神野東2丁目5-15



全体フロア図（ホテルマリターレ創世 佐賀）

4階



3階



参加者へのご案内

開催形式

本学会は現地開催のみとなります。

LIVE 配信およびオンデマンド配信はございませんので、予め、ご了承ください。

なお、ご参加に際しクールビズを実施いたしますので、軽装でご参加ください。

参加受付

ホームページ「事前参加登録」画面よりお手続きをお願いいたします。

※学生の方（無料）は、現地のみで受付いたします。参加登録システムへの登録はご遠慮ください。

受付場所

ホテルマリターレ創世 佐賀 4階 ホワイエ

受付時間

8月30日（土） 9：30～18：00

8月31日（日） 8：00～15：00

参加費

参加区分	参加費	消費税
会員（医師・企業）	10,000 円	消費税不課税
会員（メディカルスタッフ）	5,000 円	消費税不課税
非会員（医師・企業）	10,000 円	消費税課税 10%
非会員（メディカルスタッフ）	5,000 円	消費税課税 10%
初期研修医	2,000 円	消費税課税 10%
学生（社会人大学院生は含まない）	無料	

※初期研修医：「初期研修医証明書」の提出をお願いします。

※学生：学生証の提示と「学生証明書」の提出をお願いします。

ポケットプログラム・抄録集

受付でポケットプログラムをお渡しいたします。

抄録集はデータのみとなります。

マイページよりご確認いただきますので、ホームページより参加登録をお願いいたします。

YIA 表彰

学術集会若手奨励賞(Young Investigator Award)への応募者の中から「学術集会若手奨励最優秀賞」1名を決定し、懇親会にて授賞者発表と表彰式を行います。

企業共催セミナー

ランチョンセミナー整理券の配布はございません。

ハンズオンセミナー2は事前申込制です。

ハンズオンセミナー1は当日受付です

企業展示

4 階「ヨーロッパ」

8 月 30 日（土）9：30～18：00

8 月 31 日（日）8：30～15：30

懇親会

8 月 30 日（土）18：00～

3 階「グラツィアホール」

クローク

4 階（エスカレーターを上がった正面にございます）

8 月 30 日（土）9：30～18：00

8 月 31 日（日）8：00～15：30

お願い

学会会場内では参加証の着用をお願いいたします。

講演会場内での撮影および録音は禁止いたします。

講演会場内での携帯電話のご使用はご遠慮ください。また、会場内では電源を OFF にするか、マナーモードに設定をお願いいたします。

講演会場でのお呼び出しは致しかねますのでご了承ください。

学会会場施設内は禁煙ですので、ご協力をお願いいたします。

座長・演者の皆様へのご案内

発表時間

指定演題	事前にご案内の通り
学術集会若手奨励賞審査演題	発表 6 分、質疑 4 分
一般演題	発表 6 分、質疑 3 分

座長の皆様へ

座長受付は行いません。

担当されるセッション開始の 15 分前までに、各会場内の次座長席へお越しください。

演者の皆様へ

発表データ受付について

発表の 30 分前までに「PC・データ受付」にて発表データの受付をお済ませいただき、15 分前までに各会場内の次演者席へお越しください。

PC・データ受付

場所：4 階 ホワイエ

時間：8 月 30 日（土）9：30～18：00

8 月 31 日（日）8：00～15：00

発表について

Power Point による PC 発表のみとなり、プロジェクターは 1 面投影です。

お持ち込みいただけるメディアは USB メモリのみとなります。

スライドサイズはワイド画面（16：9）を推奨いたします（4：3 で投影は可能ですが画面の左右が黒色となります）。

発表時間の進行は、計時ランプでお知らせいたします。

Macintosh をご使用の場合は、ご自身の PC をご持参ください。

音声・動画はご使用いただけます。

発表スライドには利益相反開示用スライドを入れてご用意ください。

タブレット端末およびスマートフォンでの発表、また、「発表者ツール」の使用はできませんのでご注意ください。

発表データについて

[発表データを持参の場合]

受付は Windows で作成されたデータのみとなります。

会場に用意する PC の OS は Windows、使用するソフトは Power Point となります。

データのファイル名は「演題番号_演者氏名」としてください。

データ作成後、作成した PC 以外の PC で動作確認を行ってください。

フォントは文字化け等を防ぐため OS 標準フォントの使用を推奨いたします。

会場ではデータの修正はできませんので、事前にお済ませください。

学会終了後、お預かりいたしました発表データは、学会および運営事務局の責任において破棄いたします。

[ご自身の PC を持参の場合]

講演データはデスクトップ上に保存していただき、ファイル名は「演題番号__演者氏名」としてください。

PC の AC アダプターは必ずご用意ください。

会場にご用意するプロジェクター接続のコネクタの形状は HDMI となりますのでこの形状にあった PC をご用意ください。また、この形状に変換するコネクタを必要とする機種の場合は、必ず、変換アダプターをご持参ください。

バックアップ用データを保存した USB メモリをご持参ください。

スクリーンセーバー、省電力設定、起動時のパスワード設定は、予め解除をお願いします。

利益相反の開示について

本学会では、発表するすべての演題（企業共催セミナー も含む）につきまして、発表者全員の利益相反の開示を必須としております。筆頭演者が発表者全員について取りまとめ、開示用スライドにて開示をしてください。

詳細は、日本糖尿病インフォマティクス学会ホームページ内「利益相反に関する指針」をご確認ください (<https://www.jsidm.jp/coi/>)。

*上記 URL より『開示用スライド』をダウンロードして準備をお願いします。

*発表スライドの 2 枚目（タイトルスライドの後）で開示してください。

単位のご案内

単位のご案内

本学術集会では、以下の単位取得が可能となります。

■一般社団法人日本糖尿病療養指導士（CDEJ）認定機構：認定更新単位＜2 群＞2 単位
「参加証原本」を保管し、認定更新申請時に提出してください。

■佐賀糖尿病療養指導士認定機構：更新研修会：研修単位5単位
「参加証」を保管の上、資格取得及び更新の際に証明書類として提出・申請をお願いします。

■公益社団法人日本糖尿病協会：日糖協糖尿病認定医取得のための講習会
更新時に参加証を日本糖尿病協会へ提出してください。

■一般社団法人日本病態栄養学会：病態栄養専門（認定）管理栄養士更新単位（3 単位）
「終了証」と「参加証コピー」を提出することで単位取得が可能です。
「終了証」は単位受付にてお渡しいたします。
※詳細は日本病態栄養学会事務局へお問い合わせください。

■管理栄養士・栄養士関係研修会等認定日本糖尿病療養指導士認定更新規則による取得単位（2 単位）
「終了証」と「参加証コピー」を提出することで単位取得が可能です。
「終了証」は単位受付にてお渡しいたします。
※詳細は日本病態栄養学会事務局へお問い合わせください。

■NST コーディネーター認定の申請（更新）単位 1 単位
「終了証」と「参加証コピー」を提出することで単位取得が可能です。
「終了証」は単位受付にてお渡しいたします。
※詳細は日本病態栄養学会事務局へお問い合わせください。

■一般社団法人日本臨床衛生検査技師会：生涯教育履修（10 点）
「自己申告書」と「参加証コピー」を日本臨床衛生検査技師会へ提出することで単位取得が可能です。

■日本医師会：生涯教育単位（各 1 単位）
申請対象セッション：シンポジウム 1「糖尿病診療におけるビッグデータ活用の最先端」
シンポジウム 5「食事療法とインフォマティクス」
カリキュラムコード：7 6 （医療情報）
「単位受付」にて、受付をお願いいたします
（佐賀県医師会会員資格の有無を確認させていただきます）
『参加証原本』を保管しておいてください。

■一般社団法人 日本臨床栄養学会：認定臨床栄養指導医・認定臨床栄養医
単位数（1 単位）
「参加証コピー」を次回の資格更新申請時に日本臨床栄養学会へ提出してください。

CDEL (LCDE) 単位について

福岡糖尿病療養指導士認定会	5 単位
福岡県糖尿病療養指導士北九州地区認定委員会	5 単位
福岡県筑後地区糖尿病療養指導士認定委員会	5 単位
佐賀県糖尿病療養指導士認定委員会	5 単位
大分県糖尿病療養指導士認定委員会	参加 3 単位
長崎地域糖尿病療養指導士認定委員会	1 単位
宮崎地域糖尿病療養指導士認定機構	参加 5 単位
熊本地域糖尿病療養指導士認定委員会	参加証を発行します
鹿児島県地域糖尿病療養指導士認定機構事務局	参加 5 単位
沖縄 CDE 会	事務局への大会参加証提出により 5 単位

関連会議のお知らせ

<理事会>

日時：8 月 30 日（土） 9：00 ～ 10：00

会場：ホテルマリターレ創世 佐賀 3 階「ジョイア」

<総会>

日時：8 月 30 日（土） 13：40 ～ 14：20

会場：第 1 会場（ホテルマリターレ創世 佐賀 4 階「ミューズ」）

日程表 第 1 日目：2025 年 8 月 30 日（土）

	第 1 会場 グランデピアツァ（ミューズ）	第 2 会場 グランデピアツァ（アテナ）
8:00		
9:00		
10:00		
	10:20～ 開会挨拶・理事長挨拶	
11:00	10:30～11:30 特別講演 1 インフォマティクスを活用した糖尿病個別化医療の確立 座長：高橋 宏和 演者：植木 浩二郎	
12:00	12:00～12:50 ランチョンセミナー 1 インクレチン関連薬を再考する ー早期治療介入の重要性とマンジャロの可能性ー 座長：大杉 満 演者：寺内 康夫 共催：田辺三菱製薬株式会社／日本イーライリリー株式会社	12:00～12:50 ランチョンセミナー 2 CGM が広げる糖尿病デジタル医療 座長：西田 健朗 演者：松久 宗英 共催：アボットジャパン合同会社
13:00		
	13:10～13:40 特別講演 2 災害に備えるための医薬品フォーミュラリ 座長：渥美 義仁 演者：江川 孝	
14:00	13:40～14:20 総 会	
	14:20～15:20 シンポジウム 1 糖尿病診療におけるビッグデータ活用の最先端 座長：大杉 満 演者：大杉 満、藤本 賢治、山名 隼人、古川 拓馬	14:20～15:20 シンポジウム 2 疾病予防とインフォマティクス（保健事業等） 座長：黒田 暁生 演者：阿波 友理、永渕 めぐみ、花谷 聡子
15:00		
	15:20～16:40 シンポジウム 3 多職種の為のインフォマティクス（DHR ハンズオン） 座長：脇 嘉代、石川 慎一郎 モデレーター：古賀 明美、矢ヶ部 伸也、藤井 純子、山崎 孝太	15:20～16:40 シンポジウム 4 地域医療をインフォマティクスでデザインする 座長：小谷 和彦、前田 泰孝 演者：野中 文陽、古川 雅英、村武 悦子、酒井 武則
16:00		
	16:40～17:40 学術集会若手奨励賞 （Young Investigator Award） 座長：武田 純、黒田 暁生	16:40～17:34 一般演題 1 座長：江頭 絵里奈
17:00		
18:00		
	18:00～19:30 懇親会 3 階「グラツィアホール」	
19:00		

日程表 第2日目：2025年8月31日（日）

	第1会場 グランデピアツァ（ミューズ）	第2会場 グランデピアツァ（アテナ）
8:00		
9:00	8:30～10:00 企業委員会ワークショップ 産官学で糖尿病診療の課題に挑む 座長：安西 慶三、永渕 美樹 演者：松久 宗英、清水 健一郎、ジョン ギャスライト、角山 信史	8:20～9:14 一般演題 2 座長：小谷 和彦
10:00	10:00～11:00 ワークショップ 災害に関するワークショップ 座長：安西 慶三 演者：安西 慶三、西田 健朗、西澤 匡史 コメンテーター：富岡 英司	9:30～11:30 ハンズオンセミナー1 ニプロ総合医療ネットワークシステム HN LINE ハンズオンセミナー 演者：福田 裕子 共催：ニプロ株式会社
11:00	11:00～12:00 シンポジウム5 食事療法とインフォマティクス 座長：射場 裕美子 演者：藤田 美晴、野尻 哲也、奥村 仙示、宮國 翔太	
12:00		
13:00	12:20～13:10 ランチョンセミナー3 糖尿病／肥満症薬物治療の進歩と デジタルヘルスのチーム医療での活用事例 座長：松久 宗英 演者：利根 淳仁 共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社	12:20～13:10 ランチョンセミナー4 健幸長寿を目指した糖尿病診療 ～フォシーガが切り拓く糖尿病治療の新時代～ 座長：江島 英理 演者：野村 政壽 共催：小野薬品工業株式会社／アストラゼネカ株式会社
14:00	13:15～14:15 特別講演3 医療情報を"届ける"ということ ーインフォデミック時代の挑戦とヘルスコミュニケーション 座長：井上 香 演者：井上 祥	13:30～15:30 ハンズオンセミナー2 AID 治療：インスリンポンプ・CGM 導入と フォロー時のノウハウ 座長：小島 基靖 演者：小出 景子 共催：日本メドトロニック株式会社
15:00	14:30～15:30 シンポジウム6 PHR 活用の現在地 座長：中島 直樹 演者：佐竹 晃太、高橋 理穂、松尾 恵太郎、 豊原 稔、富岡 英司	
16:00	15:30～ 閉会挨拶	
17:00		
18:00		
19:00		

プログラム

第1会場（第1日目：グランデピアツツァ「ミューズ」）

開会挨拶

10:20～10:30

高橋 宏和 佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科
佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター

理事長挨拶

10:20～10:30

松久 宗英 徳島大学先端酵素学研究所 糖尿病臨床・研究開発センター

特別講演 1

10:30～11:30

座長 高橋 宏和 佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科
佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター

インフォマティクスを活用した糖尿病個別化医療の確立

植木 浩二郎 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター 糖尿病研究センター

ランチョンセミナー 1

12:00～12:50

座長 大杉 満 国立健康危機管理研究機構 糖尿病情報センター

インクレチン関連薬を再考する
ー早期治療介入の重要性とマンジャロの可能性ー

寺内 康夫 横浜市立大学大学院医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科学

共催：田辺三菱製薬株式会社／日本イーライリリー株式会社

特別講演 2

13:10～13:40

座長 渥美 義仁 慈誠会・光が丘病院 糖尿病センター

災害に備えるための医薬品フォーミュラリ

江川 孝 福岡大学薬学部 救急・災害医療薬学研究室

総会

13:40～14:20

シンポジウム 1

14:20～15:20

「糖尿病診療におけるビッグデータ活用の最先端」

座長 大杉 満 国立健康危機管理研究機構 糖尿病情報センター

SY1-基調 | 医療情報活用を支えるインフラの来し方・行く末
大杉 満 国立健康危機管理研究機構 糖尿病情報センター

SY1-1 | レセプトデータは研究で活用できるのか
藤本 賢治 産業医科大学産業保健データサイエンスセンター

SY1-2 | 医療・介護連結データベースの構築と政策・研究への活用
山名 隼人 自治医科大学データサイエンスセンター

SY1-3 | 大規模コホート・遺伝情報・レセプトデータを用いた糖尿病研究と今後の展望
古川 拓馬 佐賀大学医学部附属病院 臨床研究センター
佐賀大学医学部 社会医学講座 予防医学分野

シンポジウム 3

15:20～16:40

「多職種のためのインフォマティクス（DHR ハンズオン）」

座長 脇 嘉代 東京大学大学院医学系研究科 臨床情報工学分野
石川 慎一郎 佐賀大学医学部附属病院 医療情報部・眼科

モデレーター 古賀 明美 佐賀大学医学部 看護学科
矢ヶ部 伸也 医療法人純伸会 矢ヶ部医院
藤井 純子 佐賀大学医学部附属病院 看護部
山崎 孝太 佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科

座長 武田 純

康生会武田病院

黒田 暁生

徳島大学先端酵素学研究所 糖尿病臨床・研究開発センター

- | | |
|-----|---|
| Y-1 | <p>不動化が腸管組織に与える影響およびメトホルミン・イメグリミンによる効果：single-cell RNA-seq 解析</p> <p>野村 尚志 神戸大学医学部医学科</p> |
| Y-2 | <p>公開 RNA-seq データのメタ解析およびメンデルランダム化解析による健康アウトカムに関連する運動依存性遺伝子の探索</p> <p>井上 誠也 神戸大学医学部</p> |
| Y-3 | <p>高血糖状態の蓄積効果と腎機能低下に関するモデリング&シミュレーション解析</p> <p>金子 菜都 熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療設計学講座</p> |
| Y-4 | <p>糖尿病治療薬未使用者での CGM 指標を用いた OGTT 分類識別能に関する検討</p> <p>西影 星二 神戸大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌内科学部門</p> |
| Y-5 | <p>ロジスティック回帰分析と機械学習を用いた BMI の急激な変化と NAFLD の関連の検討：J-ORBIT 研究</p> <p>萩尾 元 神戸大学医学部医学科</p> |
| Y-6 | <p>生成 AI は実用的な食材費の推定を行えるかー食事療法での活用を目指した精度検証</p> <p>濱田 一喜 株式会社おいしい健康</p> |

第2会場（第1日目：グランデピアツァ「アテナ」）

ランチョンセミナー2

12:00～12:50

座長 西田 健朗 熊本中央病院 糖尿病・内分泌・代謝内科

CGMが広げる糖尿病デジタル医療

松久 宗英 徳島大学先端酵素学研究所 糖尿病臨床・研究開発センター

共催：アボットジャパン合同会社

シンポジウム2

14:20～15:20

「疾病予防とインフォマティクス（保健事業等）」

座長 黒田 暁生 徳島大学先端酵素学研究所 糖尿病臨床・研究開発センター

- SY2-1 健診・レセプトデータの突合による保健事業の評価
～KDB（国保データベース）システムの2次加工による台帳管理と
評価の取り組み～
阿波 友理 合同会社ヘルスサポートラボ データヘルス推進チーム
- SY2-2 健診・医療データを活用した糖尿病の発症予防・重症化予防の取組
～住民に「会う」ことを大切にした市町の保健活動～
永渕 めぐみ 佐賀県国民健康保険団体連合会
- SY2-3 熊本県における糖尿病の現状と課題
花谷 聡子 熊本大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 糖尿病重症化予防重点支援事業

「地域医療をインフォマティクスでデザインする」

座長 小谷 和彦 自治医科大学 地域医療学部門
前田 泰孝 南昌江内科クリニック
糖尿病臨床研究センター

- SY4-1 | 医療 MaaS を活用した遠隔糖尿病専門外来
～五島市モバイルクリニック～
野中 文陽 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座（離島医療研究所）
- SY4-2 | 糖尿病足病変に対するインフォマテックスの応用
古川 雅英 大分岡病院 創傷ケアセンター 形成外科
- SY4-3 | SAGATOCO で人とまちを元気に！
村武 悦子 佐賀県健康福祉部健康福祉政策課
- SY4-4 | 高齢者が安心安全にインスリン治療を継続するためのスマートインスリンペンを用いた取り組み
酒井 武則 市立八幡浜総合病院 内科

座長 江頭 絵里奈 佐賀県医療センター好生館 糖尿病代謝内科

- O-01 | 糖尿病カードシステムを用いた教育入院電子パスの活用
曾根田 麻里 佐賀大学医学部附属病院
- O-02 | 日常臨床における CGM 解析自動化と CGM レポート閲覧支援の実装
前田 泰孝 南昌江内科クリニック
南糖尿病臨床研究センター
- O-03 | インスリンポンプで管理した 1 型糖尿病合併妊娠の 1 例
－ 第 1 子（SAP 療法）と第 2 子（AID 療法）での妊娠初期の血糖管理の比較－
中野 愛乃 佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科
佐賀大学医学部附属病院医療研修センター
- O-04 | 喘息に対するステロイド投与に Automated Insulin Delivery 療法で血糖管理した 1 型糖尿病合併妊娠の 1 例
迫 佳奈子 佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科
佐賀大学医学部附属病院医療研修センター
- O-05 | isCGM から同精度・同規格の rtCGM へ切替を行った 1 型糖尿病患者 128 名における切替後 3/6/12 ヶ月時点の血糖管理指標の比較検討
関口 男 医療法人南昌江内科クリニック
一般社団法人南糖尿病臨床研究センター
- O-06 | 糖尿病患者向け食事管理支援アプリ『グルコースフライト[®]』の運用実態と継続使用における技術的課題の検討
増山 敦 西台駅前ますやま内科糖尿病クリニック

第1会場（第2日目：グランデピアツツァ「ミューズ」）

企業委員会ワークショップ

8:30～10:00

「産官学で糖尿病診療の課題に挑む」

座長 安西 慶三 高邦会 高木病院 糖尿病内分泌肝疾患センター
永渕 美樹 佐賀大学医学部 看護学科

- CWS-基調 | 日本糖尿病インフォマティクス学会でのめざす企業と医療者による課題解決
松久 宗英 徳島大学先端酵素学研究所 糖尿病臨床・研究開発センター
- CWS-1 | CGMの特徴と自己管理および遠隔診療における役割
清水 健一郎 アボットジャパン合同会社
- CWS-2 | アドヒアランス向上と Dexcom G7 の簡便性
ジョン ギャスライト デクスコムジャパン合同会社 セールス・マーケティング
- CWS-3 | 国内 CGM・AID に関する普及状況とその課題
角山 信史 日本メドトロニック株式会社

ワークショップ

10:00～11:00

「災害に関するワークショップ」

座長 安西 慶三 高邦会 高木病院 糖尿病内分泌肝疾患センター

- WS-1 | 災害時糖尿病医療支援チーム（DiaMAT）の活動と被災地医療情報連携の最前線
安西 慶三 高邦会 高木病院 糖尿病内分泌肝疾患センター
- WS-2 | 糖尿病患者に対する ICT を活用した患者支援システムの構築
西田 健朗 熊本中央病院 糖尿病・内分泌・代謝内科
- WS-3 | LPWA を利用した災害医療への試み
西澤 匡史 南三陸病院
自治医科大学医学部臨床医学部門内科学循環器内科部門

コメンテーター 富岡 英司 PSP 株式会社 新規事業開発本部

シンポジウム 5

11:00～12:00

「食事療法とインフォマティクス」

座長 射場 裕美子 佐賀大学医学部附属病院 栄養治療部

SY5-1 「あすけん医療システム」を用いた栄養食事指導

藤田 美晴 京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部

SY5-2 Food as Medicine ～データサイエンスが切り開く食事療法の新たな可能性

野尻 哲也 株式会社おいしい健康

SY5-3 糖尿病予防に向けたエネルギー密度による食事の客観化とアミノ酸と脂肪酸プロファイルによる食事データベース化

奥村 仙示 同志社女子大学 生活科学部 食物栄養科学科

SY5-4 テクノロジーを用いた医療用デバイスの社会実装における課題と展望

宮國 翔太 株式会社 asken 医療事業部メディカルアフェアーズグループ

ランチョンセミナー 3

12:20～13:10

座長 松久 宗英 徳島大学先端酵素学研究所 糖尿病臨床・研究開発センター

糖尿病 / 肥満症薬物治療の進歩と
デジタルヘルスのチーム医療での活用事例

利根 淳仁 岡山済生会総合病院 糖尿病内科

共催：ノボ ノルディスクファーマ株式会社

特別講演 3

13:15～14:15

座長 井上 香 佐賀大学医学部 地域医療科学教育研究センター

医療情報を「届ける」ということ
ー インフォデミック時代の挑戦とヘルスコミュニケーション

井上 祥 株式会社 GENOVA
横浜市立大学共創イノベーションセンター

「PHR 活用の現在地」

座長 中島 直樹 九州大学大学院 医学研究院 医療情報学講座

- | | |
|-------|--|
| SY6-1 | <p>治療アプリを用いたデジタル療法の現状</p> <p>佐竹 晃太 日本赤十字社医療センター
株式会社 CureApp</p> |
| SY6-2 | <p>血糖・血圧・体重・食事・運動等の記録データを AI で要約：
シンクヘルスプラットフォームによる診療支援</p> <p>高橋 理穂 シンクヘルス株式会社</p> |
| SY6-3 | <p>クリニックにおける治療用アプリ（DTx）導入・活用に関する課題の
検討 ―日本デジタルヘルス・アライアンスによる調査から―</p> <p>松尾 恵太郎 日本デジタルヘルス・アライアンス
株式会社 asken</p> |
| SY6-4 | <p>糖尿病の重症化予防における PHR 活用</p> <p>豊原 稔 株式会社 Welby</p> |
| SY6-5 | <p>NOBORI PHR サービスによる糖尿病患者自身の医療情報の管理</p> <p>富岡 英司 PSP 株式会社 新規事業開発本部</p> |

閉会挨拶

10:20～10:30

高橋 宏和 佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科
佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター

第2会場（第2日目：グランデピアツァ「アテナ」）

一般演題 2

8:20～9:14

座長 小谷 和彦 自治医科大学 地域医療学部門

- | | |
|------|---|
| O-07 | <p>酸化ストレスマーカーと糖尿病の関連：J-MICC study 佐賀</p> <p>古川 拓馬 佐賀大学医学部附属病院 臨床研究センター
佐賀大学医学部 社会医学講座 予防医学分野</p> |
| O-08 | <p>血中アミノ酸による過去の血糖管理の予測</p> <p>吉田 陽 陣内病院 薬剤部</p> |
| O-09 | <p>大規模言語モデルで構築する栄養指導記録構造化データベースを用いた
糖尿病栄養指導エビデンス創出研究</p> <p>龍岡 久登 京都大学大学院 医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学
関西ヘルスケアサイエンスインフォマティクス</p> |
| O-10 | <p>大規模言語モデル (LLM) を用いた生成 AI に“GLP-1 受容体作動薬及び
GLP-1/GIP 受容体作動薬の効能効果について教えて”もらった</p> <p>坂東 秀訓 萬田記念病院 内科</p> |
| O-11 | <p>糖尿病診療での活用に向けたローカル LLM の性能検討 ～オフライン生
成 AI は実用に足るのか～</p> <p>天野 剛介 岡崎市民病院 医療技術局 臨床検査室</p> |
| O-12 | <p>生活習慣病管理料Ⅱが医学管理料請求と主病名に及ぼす影響</p> <p>小川 理 鉄蕉会情報管理本部</p> |

ハンズオンセミナー 1

9:30～11:30

「ニプロ総合医療ネットワークシステム HN LINE ハンズオンセミナー」

福田 裕子 ニプロ株式会社 医療 DX 推進チーム

共催：ニプロ株式会社

ランチョンセミナー 4

12:20～13:10

座長 江島 英理 国立病院機構佐賀病院 内科

健幸長寿を目指した糖尿病診療
～フォシーガが切り拓く糖尿病治療の新時代～

野村 政壽 久留米大学医学部 内科学講座 内分泌代謝内科

共催：小野薬品工業株式会社 / アストラゼネカ株式会社

ハンズオンセミナー 2

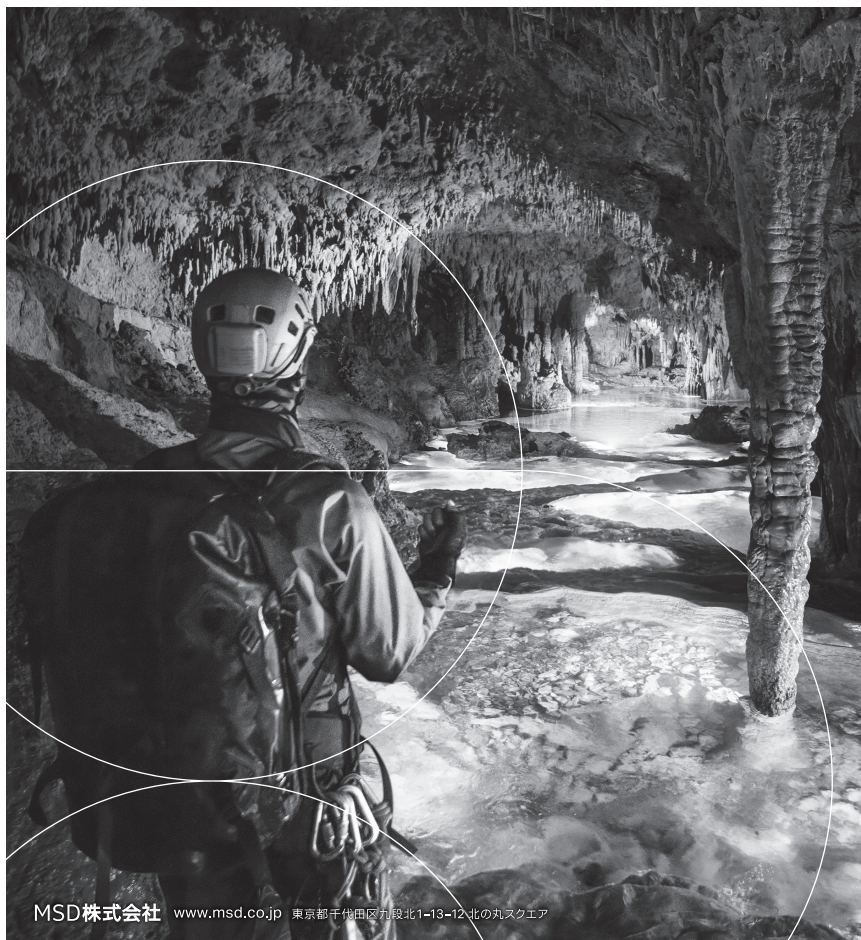
13:30～15:30

座長 小島 基靖 佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科

AID 治療：インスリンポンプ・CGM 導入とフォロー時のノウハウ

小出 景子 慈誠会・光が丘病院 糖尿病センター

共催：日本メドトロニック株式会社



INVENTING FOR LIFE

人々の生命を救い
人生を健やかにするために、挑みつづける。

最先端の医薬品の創造。それは長く険しい道のりです。
懸命な研究開発の99%以上は実を結ばない現実。
でも、決してあきらめない。
あなたや、あなたの大切な人の「いのち」のために、
革新的な新薬とワクチンの発見、開発、提供を
私たちは続けていきます。

MSD製薬
INVENTING FOR LIFE

MSD株式会社 www.msd.co.jp 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア



高脂血症治療剤

パルモディア XR 0.2mg 錠 0.4mg
PARMODIA® XR TABLETS 0.2mg・0.4mg (ペマフィブラート徐放錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること



選択的SGLT2阻害剤 -2型糖尿病治療剤-

デベルザ 錠20mg
DEBERZA® (トログリフロジン水和物錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)
興和株式会社
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2024年10月作成

**M2BPGiは、
肝臓の線維化ステージの進展を
反映するマーカーです。**



Mac-2結合蛋白 (M2BP) 糖鎖修飾異性体キット

HISCL™ M2BPGi™-Qt 試薬

特 徴

- レクチン-糖鎖反応原理を用いた肝線維化検査用キット
- 肝炎から肝硬変に至る肝臓の線維化の進行度を反映
- 化学発光基質CDP-*Star*™の採用による高い検出感度
- 検体量10μL、反応時間約17分の微量検体・迅速測定

使用目的

血清又は血漿中のMac-2 Binding Protein (M2BP) 糖鎖
修飾異性体の測定 (肝臓の線維化進展の診断の補助)

本試薬は、微量検体、高感度、約17分の迅速測定、
および高い操作性を特長とする
弊社全自動免疫測定装置 HISCLを用いて測定が
可能です。



全自動免疫測定装置
HISCL™-800

医療機器製造販売届出番号:
28B1X10014000012



全自動免疫測定装置
HISCL™-5000

医療機器製造販売届出番号:
28B1X10014000011

体外診断用医薬品 製造販売承認番号:30500EZK00052000 **保険適用**

製造販売元

シスメックス株式会社

(お問い合わせ先)

支 店 仙 台 022-722-1710	北関東 048-600-3888	東 京 03-5434-8550	名古屋 052-957-3821	大 阪 06-6341-6601	広 島 082-248-9070	福 岡 092-687-5380
営業所 札 幌 011-700-1090	盛 岡 019-654-3331	長 野 0263-31-8180	新 潟 025-243-6266	千 葉 043-297-2701	横 浜 045-640-5710	静 岡 054-287-1707
金 沢 076-221-9363	京 都 075-255-1871	神 戸 078-251-5331	高 松 087-823-5801	岡 山 086-224-2605	鹿児島 099-222-2788	

www.sysmex.co.jp



注 : 活動及びサイトの適用範囲は規格により異なります。
詳細は www.tuv.com の ID 0910589004 を参照。
Note : Scopes of sites and activities vary depending on the standard.
For details, refer to the ID 0910589004 at www.tuv.com

協賛企業等一覧

(50 音順 /8 月 18 日現在)

【ランチョンセミナー】

アストラゼネカ株式会社
アボットジャパン合同会社
小野薬品工業株式会社
田辺三菱製薬株式会社
日本イーライリリー株式会社
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

【ハンズオンセミナー】

ニプロ株式会社
日本メドトロニック株式会社

【広告掲載】

MSD 株式会社
シスメックス株式会社
興和株式会社

【助成金】

公益財団法人 鈴木万平糖尿病財団 2025 年度 会議・シンポジウム助成

【企業展示】

アークレイ マーケティング株式会社
株式会社インボディ・ジャパン
株式会社 Welby
サノフィ株式会社
テルモ株式会社
ニプロ株式会社
日本デジタルヘルス・アライアンス
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
LifeScan Japan 株式会社

【ホームページバナー広告掲載】

シンクヘルス株式会社

第 25 回日本糖尿病インフォマティクス学会年次学術集会の開催にあたり、多くの企業からのご協賛をいただきました。ここに深く感謝し、御礼を申し上げます。

第 25 回日本糖尿病インフォマティクス学会年次学術集会
会長 高橋 宏和